

2023年10月24日

各位

## 紙パック入り食用油「スマートグリーンパック®」シリーズの 売上金の一部を海洋・河川的环境保全に取り組む活動へ寄付

株式会社 J-オイルミルズ（東京都中央区、代表取締役社長執行役員 CEO:佐藤 達也 以下当社）は、便利で地球にやさしい紙パック入り食用油「スマートグリーンパック®」シリーズ対象製品の売上金の一部を寄付するプロジェクト「JOYL グリーンプロジェクト～未来によるこびを～」を実施し、昨年に引き続き海洋プラスチック削減等の海洋・河川的环境保全に取り組む一般社団法人 JEAN（ジーン）に寄付いたしました。同プロジェクトは、「スマートグリーンパック®」シリーズ対象製品 1 本につき約 3 円を寄付するもので、総額 906,480 円の寄付金は海洋プラスチック削減活動に利用されます。

当社は、企業理念体系において「Joy for Life® -食で未来によるこびを-」を目指す未来（ビジョン）として掲げています。また、優先して取り組む重要課題の一つに「環境負荷の抑制」を定め、プラスチック廃棄やごみの量（容積）の削減、CO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組んでいます。その一環として、食用油では珍しい紙パック（森林認証紙）を容器として用い、プラスチック使用量を 60%以上、CO<sub>2</sub>排出量を 26%以上、ごみの量（容積）を約 1/2 に削減した紙パックの食用油を 2021 年 8 月に販売開始しました\*。その後、2022 年 3 月にはラインナップを拡充し、「スマートグリーンパック®」としてシリーズ化いたしました。



JEAN 小島あずさ 氏(左)、同 吉野美子 氏(中央)、当社執行役員 営業戦略担当 兼 マーケティング担当 古川光有(右)  
= 10月23日、寄付金の贈呈式を開催

当社ではこれからも環境負荷低減の取り組みを推進し、2030 年度までに「プラスチック廃棄ゼロ」、  
「CO<sub>2</sub>排出量 50%削減（2013 年度対比）」、2050 年度までに「CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロ」を目指します。

## ■「スマートグリーンパック®」シリーズについて

「スマートグリーンパック®」シリーズは、プラスチック廃棄物や CO<sub>2</sub> の削減を推し進めるため、油脂製品では珍しい紙パック（森林認証紙）を容器に採用し、包装機能と環境対応を追求したシリーズです。2021 年 8 月に 2 製品を販売開始後、2022 年春にシリーズ化、その後もラインナップの充実を図っています。



「スマートグリーンパック®」シリーズ  
（左から 5 製品が今回の「JOYL グリーンプロジェクト」の寄付対象製品となります）

## ■寄付先 JEAN（ジーン）について

1990 年、国際的な海ごみ調査（ICC=International Coastal Cleanup/国際海岸クリーンアップ）の日本での実施呼びかけをきっかけに任意団体として発足し、その後、法人化。海洋ごみ問題の解決ひとすじに活動を続けている非営利の環境 NGO です。詳細については <https://www.jean.jp/> をご参照ください。

## ■J-オイルミルズについて

株式会社 J-オイルミルズ（東証プライム市場、証券コード 2613）は 2004 年に製油業界の 3 社が統合して誕生した、味の素グループの食用油メーカーです。JOYL「AJINOMOTO オリーブオイル」をはじめとする油脂製品を主力とし、特に業務用油脂では高いシェアを誇ります。マーガリン類、油糧（ミール）、スターチ、機能性素材など幅広い事業を展開しており、プラスチック使用量を 6 割以上\*削減した紙パックの食用油「スマートグリーンパック®」シリーズや植物性チーズ「Violife（ビオライフ）」、CFP(Carbon Footprint of Products)マークを取得した業務用の長持ち油「長徳®」シリーズなど、植物由来の原料から価値を引き出し「おいしさ×健康×低負荷」の実現を目指しています。

詳細については <https://www.j-oil.com/> をご参照ください。

\* 当社計算。従来のプラスチック製の同容量帯容器と比較した場合。